

## 令和 6 年度 食育推進事業（案）

### 1. 趣旨

成長期である小・中学生において、生活習慣の乱れによる朝食の欠食や肥満・痩身の増加等の課題が見受けられる。スポーツへの関心はあるが食への関心が希薄な児童生徒をターゲットとし、アルビレックス新潟と連携し、スポーツを入口として、本市の食育推進計画の核である「食を楽しむ」という観点を取り入れ、食や生活習慣に関する振り返りと改善につなげることで、日本型食生活や栄養バランス、朝食摂取の大切さを啓発する。また、同時に新潟市の食の魅力伝えるとともに、地産地消や食文化の継承についての意識向上を図る。

### 2. アルビレックス新潟と連携する効果

- アスリートが行う食事・トレーニング・睡眠などの取り組みは、部活動に取り組む若い世代や一般市民にも参考になる。
- スポーツには関心があるが食への意識が希薄な層への効果的な働きかけが期待できる。
- 昨年 J 1 に昇格し復帰 2 年目となる今年は、さらに注目度も高まっていることから、発信力に期待できるとともに、県外出身の選手も多く、外から見た新潟の魅力を発信できる。

### 3. 令和 6 年度事業案

#### （1）アルビレックス新潟の選手による特別講演会の開催

肥満・痩身傾向や朝食欠食率の高さなどから選定した市内中学校 2 校において、アルビレックス新潟の選手より、日々の食事や生活習慣への取組や意識について講話いただき、食事が体づくりに直結していることを意識づけ、自身の生活習慣の振り返りと健康づくりへの意識向上を図る。

#### （2）選手出演の啓発動画制作と発信

選手が出演し、食生活、生活習慣、本市の食の魅力をテーマとした啓発動画を制作し、選手のキャラクターを生かし、楽しみながら食や生活習慣の大切さを啓発する。

また、アルビレックス公式サイトや SNS 等での発信により、サポーター（保護者世代）への波及効果にもつなげる。

#### （3）食育教材動画およびパンフレット制作

日本型食生活や朝食摂取に関する教材を制作し、食育授業の一環として、各校での活用を促す。

#### （4）アルビ給食の実施

アルビレックス新潟の選手寮メニューを給食用にアレンジし、中学校のスクールランチを中心に提供と PR を行う。あわせて、給食に地元食材を活用し、使用食材をテーマとした「こども食育新聞」を作成して各校へ配信することで、地場農産物への愛着と理解を深める。

※事業実施前後に児童生徒向けアンケートを実施し、意識や関心、実践の変化について把握し、評価を行います。